

## 平成30年度前期授業評価

伊那北高等学校長

9月27日(木)に実施しました平成30年度前期授業評価における教科及び学年の検討結果は次のとおりです。これらの検討結果を授業改善に活用して参ります。なお、個人情報に関わる記述等については記載していません。

## 【質問項目(全学年共通)】

(1) 授業の進度はあなたにとってどうですか。(①速い→⑤遅い)
(2) 授業内容の説明や板書の仕方、指示の出し方はあなたにとって分かりやすいですか。(①大いに思う→⑤全く思わない)
(3) 出される課題や宿題の量はあなたにとって適切ですか。(①多い→⑤少ない)
(4) 授業で使用するプリント・教材や器具などは、あなたの授業内容の理解に役立っていますか。(①大いに思う→⑤全く思わない)
(5) あなたは意欲的・積極的に、集中して授業に取り組みましたか。(①大いに思う→⑤全く思わない)
(6) あなたはこの授業のための予習や復習、提出課題等をしっかりやりましたか。(①大いに思う→⑤全く思わない)
(7) あなたはこの授業を通して、この科目に対する興味関心が深まりましたか。(①とても深まる→⑤全く深まらない)
(8) あなたはこの講座の授業を通じて、自分の頭で考え自ら学ぶ力が身につくと思いますか。(①大いに思う→⑤全く思わない)
(9) 総合的に考えてあなたが満足できる授業ですか。(①大いに思う→⑤全く思わない)

## 【H30 前期授業評価 教科および学年による考察(1学年)】

(教科による分析)

## 国語

## ◆現代文

非常に満足度の高い授業を行うことができている。しかし、予習や復習、課題への取り組みで否定的な回答が多いため、再度、予習等の取り組み方法を説明し、生徒が意欲的に学べるような指導を行っていききたい。

## ◆古典

非常に満足度の高い授業を行うことができている。興味関心が高まった生徒も多い。しかし、予習や復習、課題への取り組みで否定的な回答が多いため、再度、取り組み方法を説明し、生徒が意欲的に学べるような指導を行っていききたい。

## 地歴公民

## ◆世界史

概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。

## ◆現代社会

他科目に比べ、ややネガティブな意見が多いような気がする。授業内容を工夫したいと考えている。

## 数学

## ◆数学IA

- ・昨年に比べ(9)の④⑤が減少している。今後もわかりやすい授業を心がけていきたい。
- ・(6)の④⑤の生徒が多い。予習復習を欠かさぬようしっかり取り組ませたい。

## 情報(理数科)

## ◆情報

昨年度に比べ、(7)(8)の①が減少していたので、分かりやすく指示を出し、考える力を身に付けさせたい。

## 理科

## ◆生物基礎(普通科)

授業の説明や板書をわかりやすく、興味をもてるものになるように心がけたい。課題についてはしっかり取り組んでほしい。

## ◆理数化学(理数科)

授業での生徒の態度・取り組みと概ね一致する内容となった。しかし、途中でつまづいている生徒もいるので、フォローしていききたい。課題は単元の演習としてでしか出していないので、もっと出してほしいという生徒、予習復習をしっかりしてくる生徒が増えるよう工夫したい。

## 保健体育

## ◆体育

概ねどの種目も良好な結果と捉えている。整列・挨拶等も含めて成長してくれている。大きな怪我も無く問題ないと考えている。授業の終了時間は、着替え・移動の時間を考慮して改善していききたい。

## ◆保健

概ね良好な結果と捉えている。1年生の成長段階に合わせた項目であることを認識してもらいながら展開できている。

芸術

◆美術

どの項目もおおむね良好だと考える。これからもさらに充実した学習となるよう生徒の実態に即した指導方法を工夫していきたい。

◆音楽

概ね生徒が納得できる授業となっているととらえている。しかし、(5)の④⑤に比べ、(9)の④⑤の数が少し増えている。理由は複数想定できるが、この数字だけでは読み解くことができない。引き続き授業の中で生徒の様子をよく観察していきたい。

英語

◆コミュニケーション英語 I

英語が特に得意な生徒が大勢いるわけではないので、授業の進度や難易度等について吟味し、ALTの先生と共に生徒が興味を持てる授業をし、週一度の週末課題提出を通して継続的な学習習慣を確立できるようにしたい。

◆英語表現 I

文法事項が苦手な生徒が多くいるので、授業では復習も取り入れながら繰り返し丁寧に進める。また、課題、リスニング、発音等について吟味し、コミュ英同様、生徒が興味を持てる授業をし、継続的な学習習慣を確立できるようにしたい。

家庭科

◆家庭基礎

概ね肯定的な反応である。より充実した授業内容となるよう努めたい。自由記述の内容についても配慮する。

【H30 前期授業評価 教科および学年による考察（2学年）】

（教科による分析）

国語

◆現代文

進度や課題の量は適切と感じる生徒が多い。また、昨年度と比べて、自ら学ぶ力などの項目に改善がみられる。今後も自ら考える機会を増やし、力をつけさせていきたい。

◆古典

教材の適切さなどの項目には肯定的な意見が多く、教材が理解に役立っていると思われる。一方、意欲面や予習・復習・課題への取り組みで、昨年度よりも否定的な回答が増えてしまっている。生徒が自発的かつ意欲的に学べるような方法を考え、実践していきたい。

地歴公民

◆日本史

中学校の学習内容が大幅に増加するので、生徒に「難しい科目」という印象を与えているように考える。歴史の大枠・大まかな流れを掴ませながら、進出する人名・出来事を分かりやすくプリント・電子黒板などで学習させたい。

◆地理

概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。

◆倫理

概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。

数学

◆数学ⅡB

- ・昨年に比べ(9)の④⑤が若干増えている。よりわかりやすい授業を考えていきたい。
- ・(6)の④⑤の生徒が多い。予習復習、課題をしっかりと取り組ませ、底上げを図っていきたい。

情報（普通科）

◆情報

昨年度に比べ、重点的に行っていた(7)(8)の①②が増加したことはよかったと思う。③の生徒を①②になるようにしていきたい。

理科

◆物理基礎＋理数物理

概ね普通の評価を得られた。板書や説明を丁寧にするように心がける。

◆物理基礎＋生物 授業進度、難易度については、ほとんどの生徒が満足をしている。学力や取り組みに幅があり、進度が早すぎると感じる生徒、内容が難しいと思う生徒がいるのが現実である。興味・関心を持って学習に取り組めるよう、授業を工夫していきたい。
◆化学 単位数が少ないこともあり、予習復習への取り組みがあまり良くない。さらに興味の湧く授業を心がけたい。
◆理数生物 授業進度、難易度については、ほとんどの生徒が満足をしているが、不満をもっている生徒もいる。進度が遅いと感じる生徒、早すぎると感じる生徒、内容が易しいと感じる生徒、難しいと思う生徒がいるのが現実である。大学入試を意識している生徒もいる。興味・関心を持って学習に取り組めるよう、授業を改善していきたい。
◆地学基礎 授業進度、課題量の項目で適当であるという評価を得た。他の項目では概ね①～③の評価を得ている。一方、予習復習への取り組みは比較的低い評価を受けた。課題量の増加を抑えつつ、自主的に課題に取り組めるような仕組みを考えたい。
保健体育
◆体育 概ねどの種目も良好な結果と捉えている。整列・挨拶等も含めて成長してくれている。大きな怪我も無く問題ないと考えている。授業の終了時間は、着替え・移動の時間を考慮して改善していきたい。
◆保健 概ね良好な結果と捉えている。思春期から結婚等これから直面する場面をしっかりと学習してほしいと考えて展開している。
芸術
◆美術 どの項目もおおむね良好だと考える。これからも個々の生徒の実態を見極めながら、満足できる学習を工夫していきたい。
◆音楽 比較的良好な結果ととらえている。少人数講座であることを生かし、生徒一人ひとりと対話をしながら授業を進められていることが結果に反映していると考えられる。
英語
◆コミュニケーション英語Ⅱ 全般的には満足がいくような授業ができているように思われる。しかし、英語表現でもそうだが、下位層の生徒への更なる対応の必要性が考えられる。また、考査では、基本的なスペルミス等が多く生徒に見られる事もあるので、基本を大切に、進路選択に応えられる授業をしていきたい。
◆英語表現Ⅱ 授業の進度については、内容を厳選し、もう少しスピードを上げていくようにしていきたい。課題の量については、多すぎることではないと考えられるが、これについても、進路の選択に応えられるよう検討していきたい。

【H30 前期授業評価 教科および学年による考察（3学年）】

（教科による分析）

国語
◆現代文 昨年度に比べて2（分かりやすさ）と4（教材などの適切さ）に肯定的回答が増えている。これと連動して、意欲や興味関心、考える力などの項目にも肯定的回答が増えたと見られる。一方、6（予習・復習）については改善が見られるが、否定的回答が目立つ。今後は演習中心の授業になるため、復習に意欲を持ってもらえるような指導をしたい。
◆古典 現代文同様の傾向、課題が見られる。現代文より全体的に肯定的回答が見られるのは、用意している共通の予習プリントに関して満足度が高いからか。
◆選択現代文 非常に満足度の高い授業が展開できた。後期も、より興味関心を持ってもらう工夫を心がけたい。

◆選択古典 非常に満足度の高い授業が展開できた。多くの生徒が意欲的に取り組んでいると考えられる。
地歴公民
◆世界史 概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。
◆日本史 概ね良い評価を得られた。今年度も生徒の進路実現のため、授業内容そのものに魅力を感じてもらえるように努めたい。
◆地理 概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。
◆政治経済 他の科目に比べ、ややネガティブな意見が多いような気がするので、授業内容を工夫したいと考えている。
◆倫理 概ね良い評価を得られた。今後も満足度向上に努めたい。
数学
◆数学Ⅲ 昨年に比べ(6)の④⑤が減少している。引き続きこの調子でしっかり取り組ませたい。
◆数学センター やや生徒の反応が乏しい場面が見受けられる。主体的に取り組ませるよう指導していきたい。
◆数学記述 (5)(6)で④⑤が十数名いるが、演習の時間なので、しっかり予習をしてから臨むよう生徒の意識を高めていきたい。
理科
◆物理+理数物理 予復習の取り組みに課題がある。主体的な学びにつながるような授業展開を工夫したい。興味関心が持てるような授業をさらに工夫し、自ら考え学ぶ力が身につくようにしていきたい。
◆化学+理数化学 授業の進度に満足していない生徒がいる。2年までの授業の遅れを取り戻せないでいるのが現状である。ただ進度を速めると授業を理解できない生徒が増えてしまう。検討が必要である。
◆化学探究 概ね意欲的に授業を受けているという評価が得られた。
◆生物+理数生物 課題について取り組めたかどうかというところが少し低いが、3年には課題を課していない。考察力をつけさせる授業を意識しているので、もう少し8の項目で大いにそう思うが増えてもいいと思うが、生徒側はそう思っていないということがよくわかった。
◆生物探究 授業進度、課題量は適当、他の項目はおおむね好評化を得た。はじめて担当する教科であるので、生徒の学習到達度も気にしつつ指導していきたい。
◆地学探求 授業進度、課題量は適当、他の項目はおおむね好評化を得た。去年から通じて教えている講座であるので、生徒の理解度を考えつつ指導していきたい。
保健体育
◆体育Ⅰ期 概ねどの種目も良好な結果と捉えている。体力維持・運動を楽しむことを前提に楽しんでくれていると考える。大きな怪我も無く問題ないと考えている。授業の終了時間は、着替え・移動の時間を考慮して改善していきたい。
◆体育Ⅱ期 概ねどの種目も良好な結果と捉えている。種目を楽しむと共に受験に負けない体力をつけてほしいと考えている。
芸術
◆美術 おおむね良好だと考える。美術系進学志望の生徒にとっては、授業時間だけでは満足のいく学習にはならないので、自主学習をもっと強く働きかけたい。
◆音楽 比較的良好的な結果ととらえている。少人数講座であることを生かし、生徒一人ひとりと対話をしながら授業を進められていることが結果に反映していると考えられる。

英語

◆コミュニケーション英語Ⅲ

生徒の総合的な評価は2年次の後期に比べて納得できるものになっているように思われる。予習をきちんと行うことを徹底させ、力をつけさせていきたい。

◆英語表現Ⅱ

コミュニケーション英語同様、生徒の総合的な評価は2年次の後期に比べて納得できるものになっているように思われる。生徒の評価とは関係なく全体的な進度が遅れているので、丁寧に巻き返していきたい。

◆英語探求

選択講座であるため、生徒間で習熟度の差が大きいように感じる。上位レベルから中位レベルまで幅広く対応できるような授業を心がけているが、後期は下位レベルの生徒の底上げにも注力していきたい。

◆英語会話

講座により雰囲気が異なるが、基本的には少人数の講座できめ細やかに対応できているように思う。授業時間が少ないため、授業の展開が難しい部分もあるが、その分柔軟に対応していきたい。

◆プラクティカルライティング

できる生徒とあまり英語に興味の無い生徒が取っているので、授業の進め方が難しい講座だと思う。それでも生徒にとってわかりやすい授業にするとともに、週1回ALTの先生との授業を取り入れ生徒の取り組みをより積極的にすることで、英語への関心を深めたい。

家庭科

◆ライフデザイン

概ね肯定的な反応である。より充実した授業内容となるよう努めたい。

※ 記入していただいた全ての意見、要望は、各教科・個人にフィードバックして今後の授業改善の参考にします。

伊那北高等学校  
担当 松村 真一 (教頭)  
電話 0265-72-2221  
FAX 0265-76-8969